

Shinjo

Shinjo chamber of commerce and industry



新庄商工会議所会報 第324号

2026年 1月25日発行〈季刊発行〉

新庄商工会議所のホームページには、皆様の経営を支援するお得な情報が盛りだくさん。ぜひアクセスしてください!!



2026. 1

- 年頭の辞 新庄商工会議所 会頭 柿崎 力治朗 ……2
- 第3回もがみ地域経済3団体
新年賀詞交歓会を開催 ……4
- 2025年度 老舗会員企業顕彰式・
優良従業員表彰式を挙行 ……6
- DMOシンポジウムを開催 ……8

んだにゃんが行く!

～お正月特別号～

明けましておめでとうございます♪
今年も会員事業所皆様の商売繁盛を願ってますにゃん!
ことしもよろしくにゃん!



新庄商工会議所
マスコットキャラクター
んだにゃん





年頭の辞

会員の皆様におかれましては、一層のご指導ご鞭撻を
お願い申し上げます、新春のご挨拶とさせていただきます。

新庄商工会議所 会頭 柿崎 力治朗



新年にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

今年は60年に一度の丙午、情熱やエネルギーが非常に高まり、大きな飛躍やチャンスが訪れるとともに、力強く前進する年といわれております。会員の皆様のご商売が、その言われ通り、より一層飛躍されることを心からご祈念申し上げます。

〔第31期がスタート〕

昨年、任期満了にともなう新庄商工会議所の役員議員改選がおこなわれ、11月より第31期の新体制がスタートいたしました。新たに若い世代の方々より議員に立候補いただいたことは大変うれしく、新庄商工会議所の将来にとって明るい兆しとなると受け止めております。私自身は会頭として3期目となります。これまで一貫して掲げてきた、将来にわたって夢や希望をも

つて暮らせる地域の実現に向けた各種事業を展開していきたいと思っております。役員議員の皆様のお力添えをいただきながら、勤めを果たして参ります。

〔果たす役割〕

日本経済は国の経済対策や賃上げ政策による実質所得改善と個人消費の回復が期待される一方で、企業側にとってはインフレ懸念やトランプ関税、日中関係の悪化、さらには長引く原油価格高騰などの下振れリスクも多く、世界経済や金融政策の動向も気になるところであります。地方においては人手不足、賃上げを起因とした人材確保の課題や、長引く物価高騰の対応策である価格転嫁がスムーズに進まないなど、経営を取り巻く環境は依然として先行きが見えない状況が続いております。加えて事業承継やDXによる生産性向上など、会員の

皆様の抱える経営課題が多様化、複雑化する中で、地域経済団体として様々な情報にアンテナを高く張り、さらに丁寧なニーズの聞き取りと、それぞれのニーズに沿った伴走支援をしっかりと推進して参ります。

〔新たな取り組みによる〕

地域活性化策

さて、新庄商工会議所では昨年、観光地域づくり会社「合同会社DMCもがみテラス」を設立いたしました。人口減少が加速し域内経済が縮小していく中で、裾野が広いといわれる観光産業の振興によって、交流人口や関係人口の増加を図るとともに域外需要の開拓を進め、地域経済の活性化を図っていくことを大きな目的としています。大きな収入源としては、戸沢村角川地区における小水力発電事業を計画しております。本事業の優位性は、再生可能エネ

ルギーの固定買取制度であるFITが活用できることによる確実性が高いことが最も大きく、さらには発電における環境負荷が少ないことから、当所で策定した「環境アクションプラン」の実行にもつながります。また災害時などに緊急車両の充電や避難所への電力供給といった地域住民の安全安心な暮らしの確保にも役立ちます。この事業によって得られる収益を地域の観光振興に役立てていくことにより、稼ぎ続け、暮らし続けることができる持続可能な地域づくりを実現していきたいと考えています。

〔さらなる発展を目指して〕

このたび設立したDMC（観光地域づくり会社）は将来的に、DMO（観光地域づくり法人）へと発展していくことを目指します。DMOとは観光振興の司令塔として、自治体や事業者

〔おわりに〕

住民の皆様など地域の多様な関係者と連携して観光誘客や地域全体の魅力向上を戦略的に推進し、地域経済活性化を目指す法人です。残念ながら当地域にはその組織がありません。地域初の組織設立に向けて力を尽くして参ります。

新庄商工会議所は2027年（令和9年）3月に、創立80周年を迎えます。脈々と受け継がれてきた地域商工業の歴史を、さらに次の時代に受け継いでいくためにも、強い組織であり続ける必要があります。その実現には、皆様の力を結集しなくてはなりません。会員の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとつて幸多き年となりますこと、心よりご祈念申し上げます。年頭に当たつての挨拶とさせていただきます。

2026年 年頭所感

変革と価値共創による日本経済の再出発

日本商工会議所 会頭 小林 健



明けましておめでとうございます。

2026年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

【成長の果実を賃金や投資へ】

さて、昨年の世界情勢は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の緊迫化といった地政学リスクに加え、関税・輸出管理・産業補助・投資審査などが複合的に作用し、通商環境の再編が進行するなど、不確実性が一段と高まった一年でありました。

国内に目を向けますと、日本経済は賃金と物価の好循環に向けた兆しが明確になりつつありますが、依然として物価上昇に賃金が追いつかず、実質賃金の着実な回復が最大の課題です。長年にわたり染

みつけたデフレマインドを払拭し、成長の果実を賃金や投資へ確実に循環させることこそ、日本経済の「再出発」に向けた最大の鍵であります。

こうした中、国政においては、憲政史上初の女性総理として高市総理が誕生し、就任直後からトランプ米大統領をはじめ各国首脳との会談を精力的に行い、首脳間の信頼醸成に努めてこられました。また、高市総理が議長を務める「日本成長戦略会議」におきましても、AI・半導体、造船、量子など17の戦略分野への投資に加え、人的資本の強化、労働市場改革、スタートアップ支援、賃上げ環境整備など、将来の成長力を高める政策課題が明確に示されました。国の成長戦略と歩調を合わせつつ、民間の現場から具体的な提言と実行を積み重ねていくことが、私どもの責務であります。

【成長型経済への転換を

確固たるものに、

「変革」と「価値共創」

わが国の経済は、成長型経済への移行に向けた正念場を迎えています。しかし、企業数の99.7%、雇用の約7割（3大都市圏を除くと約9割）を占める中小企業は、円安・原油高に伴う原材料・エネルギー価格などの高騰、人手不足や労務費の増加、さらには消費低迷など多くの課題に直面しています。

成長型経済への転換を確固たるものとするためには、個々の企業が自己変革を果たし、変化する外部環境に適応していくなど、絶えず「変革」に挑み続ける姿勢が重要です。同時に、不確実性の時代においては、多様な主体が互いの強みを持ち寄り、新たな価値を共に創り、共に分かち合う「価値共創」の発想こそが、これからの日本経済を支える基盤になると確信しています。

【変革と価値共創による日本経済の再出発】に向けた

三つの重点課題

こうした考えから、私は今期のスローガンとして「変革と価値共創による日本経済の

再出発」を掲げました。このスローガンの下、以下の3点を重点課題として当所の運営に取り組んでまいります。

1点目は「成長型経済の実現に向けた環境整備」です。成長型経済を実現するには、コストプッシュ型インフレから、需要拡大によるデマンドプル型インフレへと転換し、賃金と投資の好循環を持続させる必要があります。そのためにも、適切な価格転嫁と取引適正化の推進は、賃上げ原資を確保する観点から官民を挙げて一層強化すべき課題です。加えて、経済安全保障とエネルギー安全保障の両立、過度な円安の是正に向けた金融政策、人手不足への対応、持続可能な全世代型社会保障制度の構築につきます。

2点目は「変革と価値共創による中小企業・小規模事業者の『稼ぐ力』の強化」です。成長型経済の実現には、中小企業・小規模事業者の付加価値と生産性の向上が不可欠であり、新分野進出、DX・GXの推進、知的財産の創造・保護・活用、海外展開、スタートアップとの連携などへの挑戦が求められます。また、事業承継を契機として、より

強く魅力ある企業へと生まれ変わることが重要です。

3点目は「地域の稼ぐ力の向上による地域経済循環の推進」です。持続可能な観光地域づくり、地域に新たな投資を呼び込むためのインフラ整備や税財政支援、地域の産業を担う人材の確保・育成支援が求められます。いずれも商工会議所の主要な活動テーマであり、当所はもとより、各地商工会議所が中核となって取り組まれることを心より期待いたします。

【現場主義・双方向主義】の発展

私は「原点は対話である」という信念の下、会頭就任以来、全国各地を訪問し、地域や事業者の生の声を伺い、各地域が抱える課題の把握に努めてまいりました。今後は「現場主義・双方向主義」をさらに発展させ、現場の声に真摯に向き合いながら、中小企業と地域の活性化、日本経済のさらなる成長に向けて、皆さまと共に全力を尽くしてまいります。皆さまの多大なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

以上

第3回

もがみ地域経済3団体
新年賀詞交歓会を開催

新庄商工会議所、もがみ北部商工会、もがみ南部商工会による経済3団体新年賀詞交歓会を1月15日(木)、ニューグランドホテルにて開催しました。当日は衆議院議員の加藤鮎子様をはじめ23名の来賓、一般参加者約115名を合わせた138名の方々が参加し互いに交流をおこないました。開会に先立ち、関屋囃子若連による新庄囃子寄せ笛を披露、主催者を代表し当所柿崎会頭よりあいさつを述べました。来賓祝辞では来賓を代表し5名の方よりご祝辞を頂戴、その後の鏡開きは来賓全員で盛大におこなわれました。阿部副会頭による乾杯後、参加者同士で新年の挨拶や異業種による交流がおこなわれました。

今回で3回目の開催となり、初めて参加された方からは盛り上がりがい、異業種の方との交流を新たに築く事が出来たなどの声があり、盛会の中閉会いたしました。



阿部副会頭による鏡開き後の乾杯



高橋もがみ北部会長による開会の挨拶



主催者を代表し柿崎会頭より挨拶



関屋囃子若連による寄せ笛



3団体の会員同士の交流を図った



佐藤もがみ南部会長による閉会の挨拶

- | | | |
|---|---|--|
| 議 監 | 常 務 員 | 本
年
も
よ
ろ
し
く
お
願
い
た
し
ま
す |
| 員 事 | 副 会 頭
副 会 頭
副 会 頭
専 務 理 事
理 事 局 長 | |
| 伊藤 有齋 沼中 齊安 高甲 元沼 柴近 監佐 光寒 川庄 吉涌 峯涌 津長 庄金 田大 小田 須中 山滝 佐梁 永阿 柿 | 藤藤 路藤 澤蔭 藤彦 橋州 木澤 崎藤 物藤 山江 野司 田井 田井 藤沼 司田 中場 野中 田村 科口 藤瀬 井部 崎 | |
| 幸明 伸紘 邦慎 宗秀 則康 貞和 新千 昌慎 博幸 秀洋 弥真 俊正 孝直 和民 國光 久英 亞幹 敏浩 力治 朗 | 豐喜 弘治 一孝 一郎 幸雄 弘義 哉一 士正 浩一 英雄 夫一 一瓶 子一人 司彦 夫善 明一 忍治 憲子 子行 悦朗 | |
| 女性
会
会
長 | 布今 早西 田鈴 柴管 奥小 鳥齋 三松 井今 伊深 坂川 矢海 京甲 佐近 村井 星箱 長京 井野 青早 土近 高鈴 栗門 柿大 | 員 |
| | 川井 青年 坂田 中木 田山 屋村 藤澤 村上 野藤 田本 又口 藤野 州藤 藤上 上川 山沼 野上 桑木 坂田 岡橋 木田 脇崎 橋 | |
| 真孝 部会 子二 | 清英 雅法 智貴 ひと 成利 泰超 達直 裕孝 淳雅 純孔 孝崇 憲秀 裕広 朋正 初良 晃千 一 | |
| | 司之 樹学 美進 裕み 実男 博郎 也志 崇一郎 一彦 剛司 徹一 志学 司雄 繁建 明之 文貴 博稔 世一 純一 茂恵 夫 | |

第187回臨時議員総会開催 補正予算を承認

12月11日ニューグランドホテルにおいて、第187回臨時議員総会が開催されました。総会では2025年度収支補正予算と労働保険の事務処理規約の一部を変更する議案が上程され審議の結果いずれも原案のとおり承認されました。

議事終了後、柿崎会頭より再開された新庄インターチェンジ付近道の駅検討会の協議内容について、説明、報告がありました。

出席の議員からは、道の駅の面積に関すること、併設が予定されている物流施設に関する質問のほか、物販施設に関する意見、民間の声をめつと反映すべきであるとの意見などが出されました。

また、総会前に開催された常議員会において、顧問・参与、運営常任委員並びに地域振興常任委員が選任されたとの報告がありました。

総会に引き続き、国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所長の岡本直剛氏より「道路を取りまく最近の話題」

と題して、講演会を開催しました。

「道路予算については、横ばいで推移しているが、内訳として維持修繕に係る比率が高まってきている。資材や労務単価の値上がりにより、事業の進捗に影響している。

東北地方は他地域に比べて都市間の距離が長いのが特徴であり、これら都市間を結ぶことが大事である。さらには全国に先行して人口減少が進んでおり、圏域を拡大し交流人口を増やし観光客、インバウンドの方に多く来てもらうことが一層重要な地域となる。石巻新庄道路、新庄酒田道路については、沿線を全体として機能させる道路。観光や産業面からも重要な道路である。また、高規格道路に関して東北地方は、未整備区間が多い。

道路の整備については、いかに必要性を説明し予算を認めてもらい事業着手となる。そのためには地域の声が必要である」との講演内容でした。要望活動の大切さを認識する講演会となりました。

DMO 視察研修を実施

12月8日～9日、秋田県大館市の（一社）秋田犬ツーリズムと岩手県一関市の（一社）世界遺産平泉・一関DMOへ視察研修事業を実施しました。

秋田犬ツーリズムは大館市・北秋田市・小坂町・上小阿仁村からなる地域連携DMOで秋田犬をキーワードコンテンツとして国内外に情報発信し、滞在・消費につなげる取り組みを行っており、平泉・一関DMOは、民間資本のDMOであり、財源は主にふるさと納税受託事業という話でありました。どちらのDMOにおいても、いかに収益化に繋げる事業を実施してくかが、重要という話でありました。



平泉・一関DMOにて

新庄商工会議所女性会 創立40周年式典を開催

去る11月13日（木）、ニューグランドホテルにおいて「新庄商工会議所女性会創立40周年記念式典」が盛大に開催されました。当日は多くのご来賓の皆様にご臨席を賜り、会員一同、節目の喜びと今後の活動への決意を新たにいたしました。

記念式典では、創立以来、長きにわたり本会を支えてこられた9名の会員に対し、その功績を称えて「40年在籍会員表彰」がおこなわれました。



受賞者を代表し、阿部文子様よりご挨拶をいただいた

40年在籍会員表彰を受けた会員は次の通り。（敬称略）

阿部文子（パリス文化学園）
五十嵐道子（株）三吉屋本店）
小野末子（小野呉服店）小原芳子（新庄土木（株）加藤香代子（有）アートセンター誠表堂）

下妻昭子（有）阿妻無線商会）
高橋郁子（有）タカハシスポーツ）
近岡初世（新庄共益運送（株）長沼美喜子（株）ヒラタ住工設備）



40年という大きな節目を無事に迎えることができましたのも、ひとえに地域の皆様と会員の皆様のご協力のおかげです

続く記念講演会では、山形交響楽団常任指揮者の阪哲朗氏をお迎えし、「指揮者の志と未来に込める思い」と題してご講演いただきました。当日は新庄東高校吹奏楽部の生徒たちも聴講しており、次世代を担う若者たちへの温かいメッセージも大変印象的でした。その後開催した記念コンサートでは、新庄東高校吹奏楽部が演奏。若さ溢れる力強い演奏が会場に響き渡り、式典に華を添えてくれました。祝賀会では、懐かしいスナップ写真を集めたスライドショーの上映や、全員での「新庄音頭」など、会場は大いに盛り上がりました。

2025年度老舗会員企業顕彰式・優良従業員表彰式を挙

2025年度老舗会員企業顕彰式並びに優良従業員表彰式が去る11月27日(木)、アークユマリエTAMAHIMEを会場に開催されました。今年受賞された老舗企業、優良従業員の皆様をご紹介いたします。

【老舗会員企業顕彰】

合資会社一葉

創業1947年(昭和22年)

創業者は、伊東敬三郎。戦後満州から帰国し、東京での生活を経て、昭和22年に新庄市本町に食堂を開店する。敬三郎は、当時の新庄では珍しい画期的なメニュー(とんかつ、中華料理)を提供することを可能にし、一葉の創業と初期の発展を支えた。またとんかつをナイフとフォークで提供するといった当時の洋食の流行を積極的に取り入れて活気をもたらした。この地域の食堂・中華料理店の先駆けとして事業を展開した。さらに敬三郎は地域社会との活発なコミュニケーションを図ることに努め、新庄まつりへの参加や交流の場として店舗の宴会場を開放するなど、多くの人々との繋がりを構築していった。昭和30年には敬三郎の義理の兄小野正吉が「一葉支店」を新庄市沖の町に開店し、事業を盛り立てていく。

を開店し、さらなる事業の拡大を図った。東店は立地にも恵まれ、出前による注文が殺到し、賑わいを見せていく。洋一はその後昭和63年に本店に戻り、家業を継ぐ。現在に至るまで長年にわたり家業を切り盛りし、地域の人々に愛される店へと育て上げるとともに、事業の多角化にも貢献してきた。

平成22年には3代目となる知哉が家業に就く。知哉は高校卒業後、築地や銀座の料理店で日本料理の技能と料理人としての心構えを学ぶ。その経験を活かし、常に時代のニーズに適応しながら、地域に根差した食堂としての存在感を維持し続けている。また知哉は地域社会への貢献活動にも精力的に取り組んでおり、家業に戻った後、平成23年には新庄商工会議所の青年部に入会。現在も青年部活動を通じて運営やイベントの開催など、地域の活動に深く関わっている。

今後について、知哉は「初代や2代目から受け継いだ味と想いを大切に、地域社会との結びつきを強固にしながら、創業100年食堂を目指していきたい」と語っている。

パリス文化服装学院 創業1953年(昭和28年)

創業者の阿部文子は、洋裁やものづくり、ファッションに興味があったことがきっかけで、現在の県立新庄南高等学校の教諭を退職し、昭和28年10月に地域の女性向けの洋裁学校

「パリス洋裁学院」を開校。学校には昼間部、夜間部、速成科(冬期間)、日曜科の4課程があり、当時の女性の生活や働き方に沿った課程設定だった。開校後は文化服装学院(東京)の連鎖校となり「パリス文化服装学院」と校名を変更。カリキュラムの共有や学校教員のための講習会がおこなわれるなど最先端の技術を学べる場になる。

昭和40年代前半には県立山形東高等学校と通信教育提携し、高校卒業資格が取得できるようになり、入学者がさらに増えていく(現在は県立霞城学園高等学校と通信教育提携)。昭和52年には各種学校から専修学校へ格上げとなり、高等課程と専門課程を設け短大卒業程度の資格取得も可能となる。設備やカリキュラムが充実したことで、生徒数が増え当時は150名ほどが在籍していた。カリキュラムには

華道や茶道、料理などといった家庭科的な授業も含まれており、洋裁だけではなく生活に必要な能力も学べるようになった。また学校行事として北海道や京都東京への修学旅行も実施していたため、女性に人気の学校だった。文子はものを大事にすることや眠っているものを目覚めさせたいという思いから、当時まだ注目されていなかった「リフォーム」に力をいれ、不要となったシャツや座布団カバー、古い着物やワイシャツなどを再利用して新しい洋服へと生まれ変わらせることに取り組む。その活動がテレビ局の目に留まり、生徒たちが自ら製作した洋服をモデルとして披露するファッ

ションショーが、テレビ番組として取り上げられたこともあった。現代のSDGsに通じるものであり、その先見性は時代を先取りしていた。

また、学校運営だけでなく、昭和53年から平成11年に渡り、教育委員会の依頼により社会奉仕活動や生涯学習活動等を行い、ここではファッション講座やマナー講座などの講師、更に県立新庄南高等学校の同窓会長を45年務めた。新庄商工会議所女性会では40年に渡り地域の女性リーダーとしてさまざまな活動を積極的にこなしている。

今後は、幅広い年齢の方に学んでもらえるような一般社会人向けの課程も設けていきたいと考えており、併せて幼児教育にも力をいれながら、地域ニーズに合わせた多角的な教育を目指している。

プラントサービス株式会社 創業1959年(昭和34年)

創業者は、内山郊二。固形燃料の販売を中心に、燃焼機器の販売および取り付けを行っていた事業を昭和34年に法人化した。「合資会社内山商店」を設立。

代表社員に郊二が就任する。その後、昭和46年に山形県の建設業許可(管工事)を取得し、現在の設備工事業を始める。平成6年には郊二に代わり、長男の晴道が代表社員に就任する。平成11年に商号を「プラントサービス合資会社」に変更。平成18年には株式会社へ組織変更し、代表取締役は晴道が就任する。晴道は、新庄管工事協同組合の

理事長や公益社団法人山形県ボイラ・クレーン工業協会の理事、新庄商工会議所の監事を務めるなど、地域の管工事業の発展に寄与するとともに、地域商工業の振興にも貢献した。平成29年には現在の新庄市鳥越に倉庫を建設。翌年に事務所を併設し現在に至る。

令和5年には、佐々木龍哉が代表取締役に就任。令和6年に企業ホームページを一新した。併せて、設備工事業には欠かせない「ネジ」や「連結部材」、上昇志向を表す「翼」、一人一人が力を合わせることで起こる底知れない「可能性」と「チーム力」を表した、シンボルマークを制定した。

佐々木は、「私はお客様や社員の人生を『幸せ』にはできないが、『豊か』にする事はできる。設備工事の、その先にいる『お客様』に『豊かさ』を提供する。これからも最上地域唯一のボイラ整備事業所として、私たちに関わる全ての人々が『豊かになる』その『ネジ(固定具)』を目指したい」と語っている。



受賞者を代表して柿崎会頭に謝辞を述べる
山形航空電子株式会社 佐藤 新也 氏

◎勤続40年表彰



山形航空電子㈱
柿崎 和也



沼田建設㈱
丹 薫



沼田建設㈱
関 千秋



沼田建設㈱
松岡 秀幸



沼田建設㈱
岸 祐司



沼田建設㈱
高橋 祐一



㈱柿崎工務所
増山 和博



㈱柿崎工務所
沼尻 順



新庄信用金庫
伊藤 順平



新庄信用金庫
水原 賢吾

◎勤続30年表彰



山形航空電子㈱
佐藤 新也



山形航空電子㈱
新田 政輝



山形航空電子㈱
芦野 美喜男



山形航空電子㈱
栗田 啓治



㈱柿崎工務所
阿部 秀樹



㈱柿崎工務所
奥山 優



㈱新庄・鈴木・柴田組
鈴木 啓之



㈱新庄・鈴木・柴田組
佐藤 充



㈱新庄・鈴木・柴田組
岸 誠



㈱カキザキ
柳生 仁美



㈱竹中板金工作所
川又 和宏

◎勤続20年表彰



㈱カキザキ
菅 進一



㈱カキザキ
斉藤 光一



㈱新庄工務所
安食 吉彦



㈱新庄工務所
中野 哲



㈱柿崎工務所
門脇 幸一



㈱柿崎工務所
小沼 新一



㈱柿崎工務所
菅野 他人也

◎勤続10年表彰



㈱柿崎工務所
田中 翔



㈱柿崎工務所
齊藤 紀廣



㈱柿崎工務所
星川 浩美



㈱マルカ
梅津 多美子



㈱カキザキ
菅 祐治



㈱カキザキ
柿崎 芳一



㈱カキザキ
矢口 理子



㈱柿崎工務所
高橋 朋希



㈱柿崎工務所
小関 智之



㈱柿崎工務所
柿崎 千秋



㈱柿崎工務所
伊藤 隆広



㈱柿崎工務所
高橋 修一



㈱柿崎工務所
大坂 卓也



㈱柿崎工務所
井上 善己



㈱マルカ
高澤 亜矢子



㈱カキザキ
高橋 秀人



㈱カキザキ
石川 修



㈱カキザキ
阿部 忍



八向興業㈱
小林 哲



㈱柿崎工務所
延澤 栄一

DMOシンポジウムを開催

11月9日、「〜観光から始まる地域づくり〜」DMOが拓く地方創生の未来を考えるシンポジウム」を市民プラザで開催しました。観光庁観光地域振興課観光地域づくり法人支援室長近藤拓也氏を講師に招き、「DMOで目指す持続可能な地域づくり」について基調講演をしていただきました。「観光産業の位置付け（製品別輸出額との比較）では、自動車産業の次に位置しており2024年の訪日外国人旅行消費額8.1兆円。観光がもたらす経済効果は極めて高い」といった話をはじめにいただき、DMOの役割等について、「DMOの使命＝持続可能な観光地域づくりである。地域住民の理解が重要であり、一部の関係者のみでの合意形成はいい結果を生まない」という話をいただきました。その後、道の駅に関連したDMOの取り組み事例等を紹介いただきました。

第2部では「地域を動かす民間の力〜DMOとDMCが描く、共創型まちづくり」



シンポジウムには約160名が参加

〜」と題したテーマのもと、パネルディスカッションを行いました。パネリストからは、「DMO・DMCは民間が主体であり、スピード感をもって観光事業にアプローチできる」、「行政組織と比較し、柔軟に枠組みを超えた連携もできる」といった意見があり、積極的なディスカッションがおこなわれました。最後に総括として、モデルータを務めていただいた(株)JTB総合研究所の山下氏からは、官民の連携が重要であるといった話もありました。

最新の労働法改正への対応と労使トラブル防止のための実務セミナー開催

12月10日、飯田吉宏氏を講師に迎え、「最新の労働法改正への対応と労使トラブル防止のための実務セミナー」を開催しました。セミナーでは、最新の法改正の要点や企業が押さえるべき実務対応、さらに現場で起こりがちな労使トラブルの具体的事例と防止策について、分かりやすく丁寧な解説が行われました。参加者からは「自社の制度見直しに直結する内容だった」「実務で使えるノウハウが多かった」といった声が寄せられ、非常に実りある研修となりました。



解説に聞き入る参加者

脱炭素経営セミナー in 新庄を開催

環境アクションプラン事業の一環として、NPO法人環境ネットやまがた、新庄市、当所の3団体の共催により、12月16日に「脱炭素経営セミナー in 新庄」が開催されました。講師に栗田電気管理事務所代表の栗田晃一氏と山形パナソニック(株)の大沼克行氏をお招きし、事例を交えた省エネ対策や太陽光発電設備の導入についてご講演いただきました。参加者からは「具体的な事例によりどういったことが省エネ対策になるのかわかりやすかった」、「太陽光発電導入について全体的な流れがわかった」など脱炭素経営を目指すきっかけとなり得るセミナーとなりました。



省エネ対策について講演をおこなう栗田氏

事業承継対策セミナー開催

12月24日、初鹿野浩明氏を講師に迎え、「事業承継対策セミナー」を開催しました。事業承継を単なる経営者交代ではなく、企業の成長につなげる経営革新の機会として捉える重要性が解説されました。特に後継者育成を承継対策の中心に据え、早期から経営参画させることの必要性が強調されました。また、将来ビジョンを明確にする事業承継計画書の作成ポイントや、現状分析から課題抽出、対策立案までを整理できる事業承継チェックフローが紹介され、計画的かつ実践的に承継準備を進めるための具体的な手法を学ぶ内容となりました。



事業承継の重要性についての解説に聞き入る参加者

「地域ブランド共創 ワーキング」を開催

最上地域では、地域ブランドの確立を目指し、今年度もワーキングを開催しました。

本年度は、地域内で統一したブランドイメージを浸透させるため、もがみ物産館様のご協力のもと、「醸す（かもす）」を年間テーマに掲げた季節ごとのVMD（視覚的な売場演出）を展開しています。今後も、商品の魅せ方やストーリー性を重視した「売れる売場づくり」を推進するとともに、新たな商品開発にも着手し、さらなる地域の価値向上を目指してまいります。

※本事業は「働き方改革推進支援助成金事業助成金」を活用し、従業員の賃金引上げ及び新規雇用等、雇用環境の改善を目指しております。



「醸す」をテーマとした冬の展示の様子

建設部会 視察研修事業を開催

10月25日～26日【TOHOKU DX GATEWAY 2025】
【アクアイグニス仙台】
【震災遺構荒浜小学校】へ、視察研修事業を開催しました。

TOHOKU DX GATEWAY 2025では、DX事例等を視察し、最新技術の活用方法を学び、今後の業務効率化と安全性向上に役立つ知見を得た研修でした。また、アクアイグニス仙台では、防災・運営の視点で視察し、施設の安全管理体制や運営上の工夫を学び、防災対策に活かせる貴重な研修となりました。震災遺構荒浜小学校では、被災状況や教訓を学ぶことで、防災意識の重要性和具体的な対応策を改めて理解した研修となりました。



アクアイグニス仙台にて

新庄商工会議所青年部 新会員より一言

この度、新庄商工会議所青年部に入会させていただきました株式会社カキザキ・ニューグランドホテルの小野と申します。

当ホテルは「地域を大切に地元ホテルとしての誇りを胸に40年」営業してまいりました。

日々、宿泊や宴会を通じて新庄を訪れる皆さまと地域をつなぐ役割に携わる中で、地域の魅力と可能性を強く感じております。

微力ではございますが新庄の活性化と発展に貢献できればと思っております。

何卒、よろしくお願い申し上げます。



株式会社カキザキ
ニューグランドホテル
小野 智也

●入会についてのお問合せ

新庄商工会議所青年部事務局

TEL 22-6855

担当 加藤までご連絡下さい

「伊達な商談会」への参加および、「しんじょうマルシェ」において山形プラザ」を開催しました

会員事業所の域外における販路開拓支援の一環として、10月20日(月)に仙台商工会議所で開催された「伊達な商談会」へ参加しました。

本商談会は、東北各地の商工会議所会員企業を対象にした事前予約制の1対1個別商談会で、毎年多くの企業が参加する実践的な商談の場となっております。

当日は、吉野敏充デザイン事務所様(新庄市・デザイン業)が参加され、JR東日本東北総合サービス株式会社のバイヤーに対し、たぬきの置物のPRおよび商談を行い、今後につながる有意義な機会となりました。

また、12月19日(金)～20日(土)の2日間、東京都中央区銀座の山形県アンテナショップ「おいしい山形プラザ」にて「しんじょうマルシェ」を開催しました。

有限会社佐藤製館所様および産直まゆの郷様の2社にご参加いただき、首都圏の来店客へ新庄の特産品をPR・



しんじょうマルシェの様子

販売しました。試食・試飲を通して魅力を直接お伝えすることができ、新庄の食の発信につながる機会となりました。今後も当所では、会員事業所の皆様の域外での販路開拓を積極的に支援してまいります。商談会や販売会への出展に関心のある方は、お気軽にご相談ください。

※本事業は「働き方改革推進支援助成金事業助成金」を活用し、従業員の賃金引上げ及び新規雇用等、雇用環境の改善を目指しております。

山形県の最低賃金が改正されました！

効力発生日 令和7年12月23日

時間額 **1,032円**

特定（産業別）最低賃金	
ポンプ・圧縮機器、一般産業用機械・装置、他に分類されないはん用機械・装置、化学機械・同装置、真空装置・真空機器製造業	時間額 1,070円 58円UP
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	時間額 1,055円 59円UP
自動車・同付属品製造業	時間額 1,070円 58円UP
自動車整備業（自動車分解整備の業務に従事する者に限る）	時間額 1,032円 ※山形県最低賃金が適応されます

商工会議所 LOBO 調査（早期景気観測） — 2025年12月調査結果 —

今月のトピックス

2026年度の賃金（正社員）の意向①

- ・賃上げ予定は5割超も防衛的な賃上げが約7割
- ・3%以上の賃上げ予定企業が半数を超える

2026年度の賃金（正社員）の意向②

- ・賃上げ理由は人材確保・定着が最多
- ・価格転嫁実施企業の給与総額引き上げ率は高い傾向

2025年12月の動向

・業況DIは、物価高が重荷で力強さ欠き、ほぼ横ばい
 ・先行きは、長引く経営課題多く、慎重な見方続く
 全産業合計の業況DIは、▲18.0（前月比▲0.1ポイント）
 先行き見通しDIは、▲17.8（今月比+0.2ポイント）
 ※DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)
 売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりを意味する。



商工会議所 LOBO
 (早期景気観測)
 2025年12月調査結果



住宅関連工事に弱さがみられるものの、一部で公共工事の受注が増加しているほか、設備投資需要が底堅く推移しており、改善。また、青森県東方沖で発生した地震の影響で耐震補強工事の需要が高まっているという声も聞かれた。



原材料価格の上昇が続く飲食料品関係で採算が悪化したほか、住宅関連工事の減少を受けた木材製品製造業で引き合いが減少し、悪化。また、円安が続いていることによる仕入価格の上昇を指摘する声が散見された。



堅調な設備投資需要を受けた建築資材関連で引き合いが増加したほか、生鮮品を取り扱う事業者で仕入価格が安定したことなどから、改善。



物価高に伴う消費者の節約志向の高まりは継続しているものの、仕入価格や物流費等の上昇分について価格転嫁が進み、改善。



冬の賞与支給が下支えとなり、飲食店では忘年会の予約が好調との声が聞かれたが、一部地域で旅館や観光施設の団体客数が減少しており、悪化。

ぜひご登録ください！

新庄商工会議所 公式LINE 友だち募集中!!!

新庄商工会議所 公式LINEでは、

- ・補助金、助成金に関する最新情報
- ・重要なお知らせ
- ・各種セミナー情報 など

会員事業所様のためになる情報をお届けしております。ご登録はこちら→→→



季刊にゃーが「山形エクセレントデザインプロジェクトデザイン賞」を受賞

当所が制作委員会の一員として参加する新庄・最上広域情報誌「季刊にゃー」が、「山形エクセレントデザイン2025」のプロジェクトデザイン賞を受賞しました。

12月18日(木)にやまぎん県民ホールで挙行された授賞式では、吉村県知事より賞状とトロフィーが授与されました。

審査員の講評では、地域住民の多様な人生を記録し未来へ繋ぐ役割を果たしている点と、持続可能な運営モデルを確立している点が高く評価されました。



吉村県知事より賞状とトロフィーを受けとるデザイナーの吉野氏と沼野氏